



銘柄コード：9377

空を想い、技術を極め、環境社会を創る。



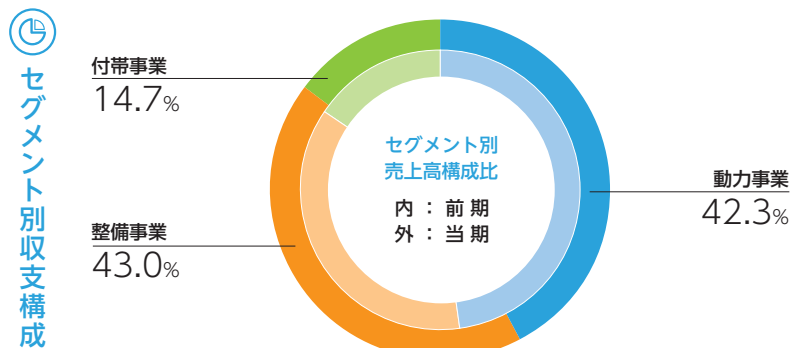
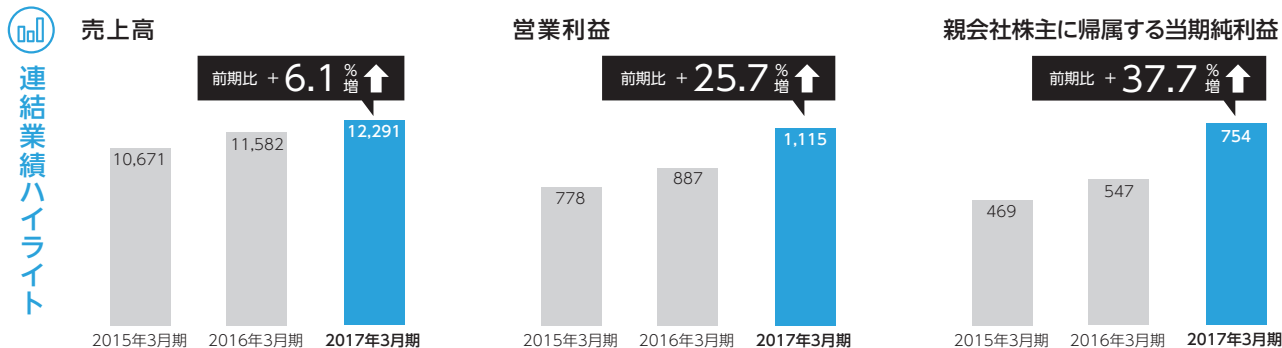
# IR HANDBOOK

第52期のご報告 2016年4月1日 ▶ 2017年3月31日



# 空を想い、技術を極め、環境社会を創る。

(単位:百万円)



動力事業セグメント利益(連結)	953百万円	(前期比 +147百万円)
整備事業セグメント利益(連結)	889百万円	(前期比 +66百万円)
付帯事業セグメント利益(連結)	36百万円	(前期比 +108百万円)
連結営業利益*	1,115百万円	(前期比 +227百万円)

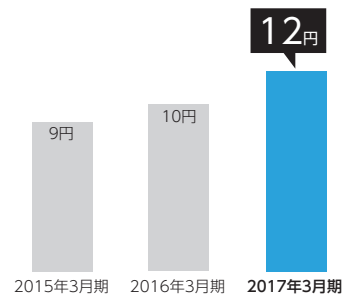
\* 連結営業利益は、上記セグメント利益より一般管理費を除いた金額となります。

セグメント別概況は [P05](#)へ

**株主還元**  
 当社は、株主への安定的な利益還元を最も重要な課題の一つと認識し、将来の事業展開に備えるための内部留保、業績や財務状況、配当性向等を総合的に判断したうえで配当を行うことを基本方針としております。

次期の配当は [P04](#)へ

一株当たり配当金

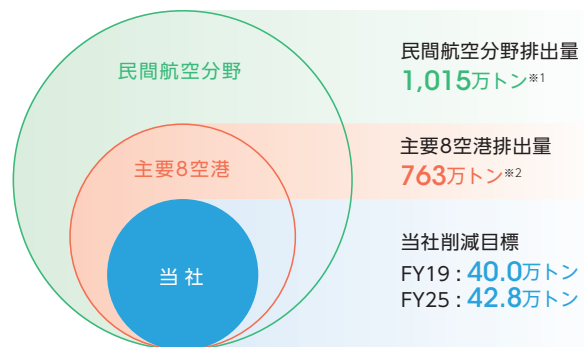


## 環境への取り組み (CSR情報)

### 当社の環境に対する考え方

全事業分野における具体的な行動を通じ、環境に優しい、低炭素・循環型の持続可能な社会を実現します。

### 民間航空分野CO<sub>2</sub>排出量に対する当社削減目標



※1 数値は2013年度排出量(温室効果ガスインベントリより)

※2 航空分野排出量に発着回数比率を乗じた概算値

### 全事業分野における環境への取り組み

#### 動力事業

空港・空港周辺における更なる環境負荷削減策として

- 電気自動車 (EV) の導入促進と燃料電池自動車 (FCV) の研究
- 省エネ機材の促進や再生可能エネルギー等の新技術導入

#### 整備・施設・セキュリティ事業

- 省エネ運転や省エネ部品の提案及び導入、部品交換回数の削減等
- CO<sub>2</sub>を削減する太陽光発電の保守業務への参画

#### フードシステムソリューション事業

- 省エネ、省スペースが特徴のAGPフードカートの販売

#### 新規事業

- 完全閉鎖型工場における無農薬、低生菌、無洗、長持ちの低カリウム野菜の生産

## 当期の出来事

- |         |     |   |
|---------|-----|---|
| Topics  | 5月  | 「第26回 西日本食品産業創造展'16」へ出展                 |
| Topics  | 5月  | 「しながわECOフェスティバル2016」へ出展                 |
| Topics  | 10月 | 「HOSPEX JAPAN 2016 (第41回ホスペックスジャパン)」へ出展 |
| Product |     | 詳しくは <a href="#">P07</a> へ              |
| Product | 10月 | 「AGPでんき」販売開始                            |
| Product |     | 詳しくは <a href="#">P07</a> へ              |
| Product | 12月 | 「腰補助用マッスルスーツ®」販売開始                      |
| Topics  | 2月  | 「HCJ2017(第38回フード・ケータリングショー)」へ出展         |
| Topics  | 2月  | ALSOKとの業務提携に基本合意                        |
| Topics  |     | 詳しくは <a href="#">P08</a> へ              |
| Topics  | 3月  | タイ中小企業との連携促進に関するタイ政府工業省産業振興局との覚書締結      |

To Our Shareholders

営業利益を確保しつつ  
新規事業領域拡大も図り  
企業価値向上へ向けた  
事業戦略を推進します。



代表取締役社長

山口栄一

## 2017年3月期の経営成績

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢に改善の動きがみられ、緩やかな回復基調が継続しました。

また、不透明感があるものの、米国では引き続き景気回復傾向にあり、欧州・アジア地区でも総じて持ち直しの動きがみられております。

航空業界では、訪日旅客は過去最高のペースで推移しており、国際線の路線開設・増便が進み需要は堅調に推移しています。

このような状況下における当社業績は、動力事業では、航空需要が堅調に推移しているなかで、電力供給機会が増加したこと、整備事業では、施設設備工事の増加や、空港特殊機械整備工事が増加したこと、付帯事業では、低カリウム野

菜の生産・販売数の増加や、ビジネスジェットの駐機利用が拡大したことにより、全セグメントにおいて増収となりました。

この結果、売上高合計は122億91百万円と前期比7億9百万円（6.1%）の増収となりました。

営業費用につきましては、整備事業および付帯事業では増収に伴い原材料費が増加したものの、電気料金の値下がり等により、111億76百万円と前期比4億81百万円（4.5%）の増加に留まりました。

以上により、営業利益は11億15百万円と前期比2億27百万円（25.7%）の増益、経常利益は11億32百万円と前期比2億29百万円（25.5%）の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は7億54百万円と前期比2億6百万円（37.7%）の増益となり、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の全てにおいて過去最高を更新しました。

なお、営業利益率は9.1%、ROEは10.2%となりました。

## 2018年3月期の見通し

中期経営計画で定めた経営目標を達成するため、これまで明確になった課題にスピード感を持って取り組みます。動力事業では、ターゲットを絞り込んだ使用率向上策を実施することによる増収を計画しております。整備事業では、パートナー企業との連携深化、技術者を確保する仕組みの構築等により空港内外の業務拡大と増収を計画しております。付帯事業では、フードコート販売において、リピート案件の確実な取り込みと新規顧客の獲得による販売増加、低カリウム野菜の生産・販売における新商品投入と販路拡大、小売電気等の販売拡大を通じた増収を計画しております。更に、働き方の見直しによる生産性向上や、海外事業展開の足掛かり構築等、営業利益率向上とのバランスを取りながら新規事業領域を開拓する計画としております。

これにより、売上高は140億円と前期比17億8百万円（13.9%）の増収、営業利益は13億円と前期比1億84百万円

（16.5%）の増益となる見通しです。経常利益は、13億円と前期比1億67百万円（14.8%）の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比15百万円増加（2.1%）の7億70百万円の見通しとなり、更に期中の収支改善による営業利益率向上に努めることとしております。

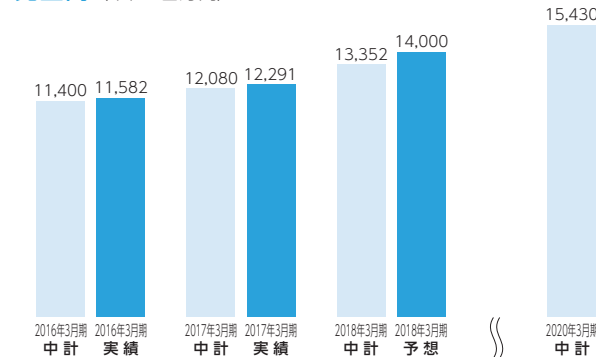
## 株主還元について

当社は、株主への安定的な利益還元を最も重要な課題の一つと認識しつつ、将来の事業展開に備えるための内部留保、業績や財務状況、配当性向等を総合的に判断したうえで、利益還元の充実に努めることを基本方針としております。当期配当金につきましては、期末一括配当12円としております。

次期の年間配当につきましては、中間配当および期末配当の年2回を基本とし、中期経営計画の進捗を踏まえ、年間12円を予定しております。

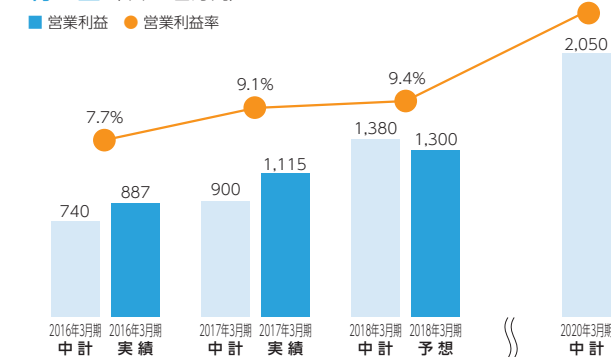
## 中期経営計画進捗状況 2017年3月期は売上高・営業利益とも過去最高

売上高（単位：百万円）



※ 中計は2015年1月発表の中期経営計画値。

利益（単位：百万円）



※ 2017年3月期の営業利益率9.1%は実績値、2018年3月期の営業利益率は会社期初予想値（2017年5月11日公表）。

**動力事業** 売上高 **5,205**百万円 セグメント利益 **953**百万円

事業概況

航空機が必要とする電力・冷暖房・圧搾空気の供給および、航空機用動力供給設備の設計・施工、運用管理等を行っています。

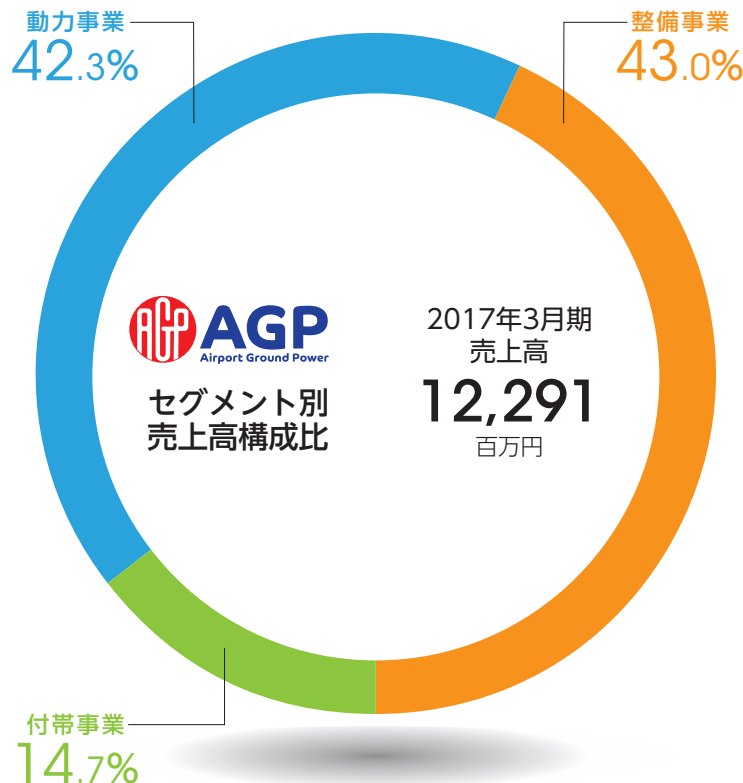


当期のポイント

- 電力供給機会の増加や設備の使用率向上により増収
- 電気料金の値下がり等によりセグメント利益は、前期比18.3%の増益

次期のポイント

- 更なる使用率向上施策の実施
- 設備投資・原材料の調達価格の抑制と戦略的購買推進
- 地方空港など、動力事業の更なる展開検討・実施



**整備事業** 売上高 **5,280**百万円 セグメント利益 **889**百万円

事業概況

旅客搭乗橋、手荷物搬送設備、物流倉庫搬送設備等の空港内外の特殊設備の整備・保守管理や空港内外の建物・諸施設等の保守・維持管理を行っています。



当期のポイント

- 施設設備工事の増加や、空港特殊機械整備工事の増加により増収
- 役務作業の増加と生産性向上施策の効果、原材料費等が減少したことによりセグメント利益は、前期比8.1%の増益

次期のポイント

- コンセッションへの的確な対応と空港会社との良好な関係維持
- お客様とのコミュニケーション強化と提案型営業の展開
- パートナー企業との連携深化や技術人材派遣会社の設立検討による人材不足の解消

**付帯事業** 売上高 **1,805**百万円 セグメント利益 **36**百万円

事業概況

フードカート販売や空港内外セキュリティ機器の保守管理のほか、新規事業として、低カリウム野菜等の生産・販売、ビジネスジェット支援事業、小売電気事業、GSE (Ground Support Equipment) 関連事業を行っています。

当期のポイント

- フードカート販売において販売数が低下したものの、低カリウムメタスの生産・販売数の増加、航空機用電源装置設置工場の受注、ビジネスジェット専用格納庫の駐機利用拡大や、機体クリーニング作業等の増加により増収
- フードカート販売が低下したものの、セキュリティ機器の保守作業増加、ビジネスジェットの駐機およびクリーニング作業の増加によりセグメント利益は増益



次期のポイント

フードシステムソリューション事業

- リピート需要の確実な取込
- 国内外の新規お客様の開拓、製品の認知度向上

セキュリティ事業

- 総合警備保障株式会社 (ALSOK) との業務提携に関する基本合意書を締結し保守分野での協業と業務拡大

低カリウム野菜生産・販売事業

- 新商品の投入と販路拡大

ビジネスジェット支援事業

- 新しい駐機スペース確保
- クリーニングサービスの事業拡大、グランドハンドリングの展開による事業基盤の強化

小売電気事業

- 高圧50件、低圧5,000件の新規契約獲得と付加価値サービスの拡充

Product

10月

## 「AGPでんき」販売開始



当社は、羽田・成田をはじめとする国内主要空港で航空機への動力供給や施設・設備の保守メンテナンス等を行っております。2016年年4月からの小売電気事業の全面自由化をビジネスチャンスと捉え、自社における電力調達の効率化を図るとともに、個人・法人を問わず、空港内外のお客様に対して、小売電気事業の展開を行います。

空港内で長年培ってきた需要家としての経験を活かし、小売電気事業者として、高圧・特別高圧（契約電力50kw以上）の空港内外のお客様向けに、最適な料金プランを提示します。「AGPでんき」への切り替えによる電気の品質や安全性は従来と変わりません。

**対象地域** 日本全域  
（ただし、「AGPでんき」の供給先は、沖縄電力管内を除きます。）

Product

12月

## 「腰補助用マッスルスーツ®」販売開始

当社は、株式会社イノフィスと、腰補助用マッスルスーツ販売に関し、航空・空港業界における販売代理店契約を締結しました。東京理科大学発のベンチャー企業である、株式会社イノフィスが販売している人工筋肉を用いた「腰補助用マッスルスーツ」については、介護業界、物流・荷役業界等で腰痛対策として活用されておりますが、これを航空・空港業界における腰痛対策として活用することを目的に、販売代理店として腰補助用マッスルスーツの普及を図り、航空・空港業界の作業安全向上に貢献するものです。



Topics

3月

タイ中小企業との連携促進に関するタイ政府工業省産業振興局との覚書締結  
～日本の空港で培われた技術を海外へ～

当社は、タイの工業振興政策を所管する同国工業省産業振興局との間で、タイおよび日本の相互利益のため、当社とタイの中小企業との連携促進に相互に協力することに合意し、覚書をバンコクにて締結いたしました。

当社は、設立50周年を機に策定した「長期ビジョン2025」において、高い技術力と環境社会への貢献によって、空港の安全を守るために培われた技術を日本国内だけでなく、海外へお届けすることを目指しており、同ビジョンに基づき、空港外事業として、フードカートの生産・販売、植物工場の運営や低カリウム野菜の販売などを展開しています。タイの中小企業に協力し、人材育成を支援することで、当社が培った技術を



タイで活用し、タイの経済政策に貢献するとともに、当社の海外事業拠点を開拓することを目指しています。

当社は、今後、本覚書に基づき、タイ中小企業との協業を進める他、タイをはじめとする発展著しいアジアでの事業展開を検討していきます。

会社概要

商号 株式会社エージーピー  
AGP CORPORATION

本社 〒144-0041  
東京都大田区羽田空港一丁目7番1号  
TEL. 03-3747-1631  
FAX. 03-3747-0707  
E-mail: info@agpgroup.co.jp

最寄駅 東京モノレール羽田線 整備場駅 下車3分

設立 1965年12月16日/  
日本空港動力株式会社設立  
2000年9月1日/  
株式会社エージーピーに商号変更

資本金 20億3,875万円

社員数 654名 (連結) / 299名 (個別)

会計監査人 新日本有限責任監査法人

役員 (2017年6月20日現在)

代表取締役社長 山口 栄一  
常務取締役 穴戸 昌憲  
常務取締役 丸山 均  
常務取締役 村尾 学  
取締役 畑山 博康  
取締役 門谷 良己  
社外取締役 佐々木 かをり\*  
常勤監査役 大島 康典  
社外監査役 長谷川 正人  
社外監査役 奈尾 真一\*  
社外監査役 米谷 宏行

\* 東京証券取引所の定めに基づく独立役員

エージーピーグループ (連結子会社)

株式会社エージーピー沖縄 株式会社エージーピー開発  
株式会社エージーピー関西 株式会社エージーピー北海道  
株式会社エージーピー九州 株式会社エージーピー中部  
ドクターページダブルジャパン株式会社

ネットワーク

本社 東京都大田区羽田空港一丁目7番1号  
TEL.03-3747-1631 FAX.03-3747-0707

成田支社 千葉県成田市三里塚御料牧場1-1  
(日本航空成田第一ハンガー内)  
TEL.0476-32-8775 FAX.0476-32-8779

羽田支社 東京都大田区羽田空港三丁目1番2号  
TEL.03-5757-9447 FAX.03-5757-9191

関西支社 大阪府泉南市泉州空港南1番地  
(日本航空輸出貨物ターミナル)  
TEL.072-456-6101 FAX.072-456-6107

千歳空港支店 北海道千歳市美々 (新千歳空港内)  
TEL.0123-46-5858 FAX.0123-24-9213

中部空港支店 愛知県常滑市セントレア一丁目1番地  
(中部国際空港内)  
TEL.0569-38-0286 FAX.0569-38-8165

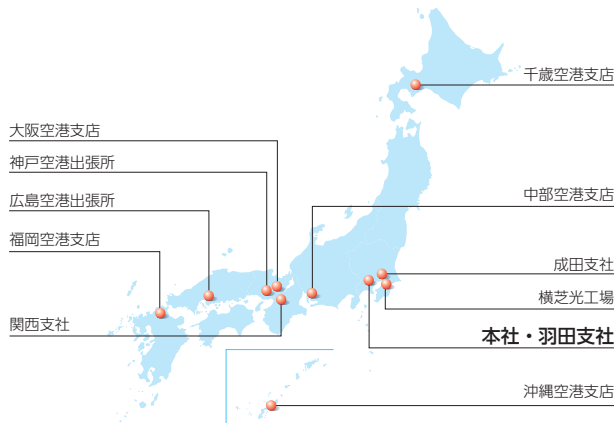
大阪空港支店 大阪府豊中市蛍池西町三丁目555番地  
(大阪国際空港内)  
TEL.06-6856-7326 FAX.06-6855-9490

神戸空港出張所 兵庫県神戸市中央区神戸空港1番  
TEL.080-5075-5932

福岡空港支店 福岡県福岡市博多区上臼井柳井348番地  
(福岡空港内)  
TEL.092-621-9124 FAX.092-629-1974

広島空港出張所 広島県三原市本郷町善入寺64番31 (広島空港内)  
TEL.0848-60-8311

沖縄空港支店 沖縄県那覇市鏡水150番地 (那覇空港内)  
TEL.098-858-0291 FAX.098-859-4229



株式の状況

発行可能株式総数 52,000,000株  
発行済株式総数 13,950,000株  
株主数 2,093名  
単元株式数 100株

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本航空株式会社	4,651,000	33.34
三菱商事株式会社	3,740,000	26.81
ANAホールディングス株式会社	2,793,000	20.02
エージーピー社員持株会	321,400	2.30
STIFEL, NICHOLAUS + COMPANY, INCORPORATED SEG EBOC	139,500	1.00
栗原工業株式会社	86,000	0.61
塩川美行	53,000	0.37

\* 持株比率については、自己株式 (1,980株) を控除して算出しております。

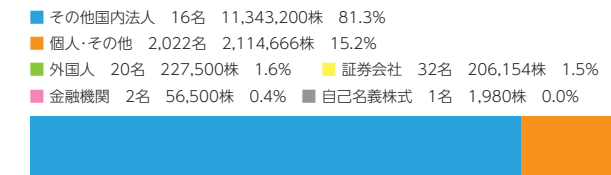
株主メモ

決算期 3月31日  
定時株主総会 6月中  
同総会権利行使 3月31日  
株主確定日  
利益配当金支払 3月31日  
株主確定日  
基準日 毎年3月31日  
そのほか臨時に必要があるときは、あらかじめ公告いたします。  
公告方法 電子公告  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
特別口座の 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社  
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

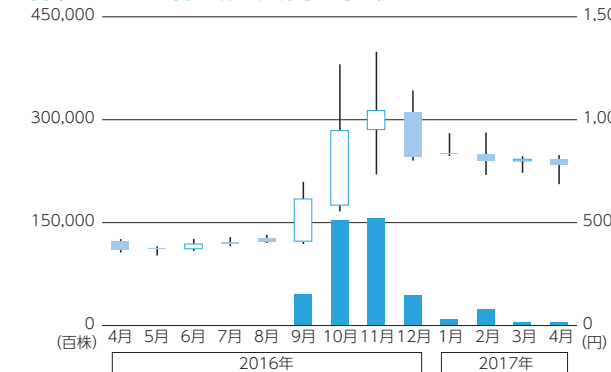
ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人 (三井住友信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関 (三井住友信託銀行) にお問い合わせください。なお、三井住友信託銀行本支店にてお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式の分布状況



株価および株式売買高の推移 (月足)



## AGPグループの“低カリウム野菜”のご案内

当社が既存事業を通じて培ってきた「施設維持管理」や「作業工程管理」などのノウハウを活用し、低カリウム野菜を生産・販売しております。



### 低カリウムトマト

ドクターベジタブルの低カリウム野菜に、新たな仲間が加わります。低カリウムトマトは通常のミニトマトよりカリウム含有量を半分に抑えているので、カリウム摂取制限のある方でも安心して生のトマトを召し上がっていただけます。どうぞ、お楽しみください!

※ 七訂増補日本食品標準成分表 ミニトマトとの比較



### 低カリウムレタス

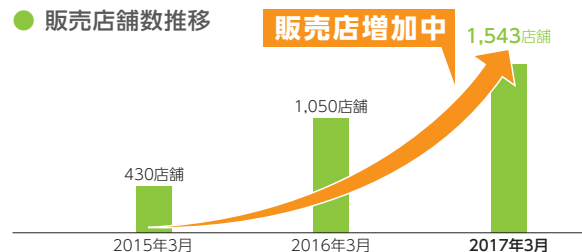
野菜の生育に必要なカリウム含有量を一般的なリーフレタスの20%以下に削減し、カリウム制限のある方も安心して新鮮な生野菜をお召し上がりいただくことが出来ます。

現在では販売店を拡大し、通信販売も行っています。

皆様がお買い求めしやすくなりました。是非お試しください!

※ 重い腎臓疾患をお持ちの患者さんは厳しいカリウム摂取制限を受けています。

#### ● 販売店舗数推移



「低カリウムレタス」  
通販ショップで販売中!!

<http://www.drvegetable.jp/shop/>

### 株式会社 エージーピー

〒144-0041 東京都大田区羽田空港一丁目7番1号

TEL. 03-3747-1631 FAX. 03-3747-0707

URL: <http://www.agpgroup.co.jp/>

E-mail: [info@agpgroup.co.jp](mailto:info@agpgroup.co.jp)



見やすく読みまちがえ  
にくいユニバーサル  
デザインフォントを採用  
しています。

